

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年12月07日

計画の名称	京都市における少子・高齢社会に対応した「緑豊かなまちづくり」（第3期）														
計画の期間	平成31年度 ～ 令和02年度（2年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	京都市														
計画の目標	良好な都市環境・都市の安全性向上・市民活動の場など、様々な規模の都市公園を整備することにより、少子・高齢社会に対応した「緑豊かなまちづくり」を推進する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		573	A	569	B	0	C	4	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0.69	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31		R2
1	市民一人当たりの公園面積を4.87㎡/人（H30.4時点）から4.88㎡/人（R2末）へ増加			
	市民一人当たりの公園面積の達成率	5人	人	5人
	公園面積／京都市人口			
2	西京極陸上競技場兼球技場の競技・観戦環境の向上			
	利用者アンケートで競技・観戦環境がH31（整備前）よりR2（整備後）の方が「良くなった」とする割合が50%以上	0%	%	50%
	利用環境が「良くなった」とする人数／利用者アンケート実施者数			
3	西京極陸上競技場兼球技場の競技・観戦環境の向上			
	利用者アンケートで西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場に対する改善・充実要望の割合を34%から30%へ減少させる。	34%	%	30%
	改善・要望をした人数／利用者アンケート実施者数			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	
○ 京都市水共生プランに基づき実施される要素事業（1－A－1） ○定例的指標の定義および算定式1の対象事業 1－A－1 4.87㎡/人（H31当初） 4.88㎡/人（R2末） ○定例的指標の定義および算定式2，3の対象事業 1－A－4－1，1－A－4－2																

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	京都市	直接	京都市	－	－	緑地環境事業（吸収源対策公園緑地事業）（新規整備）	施設整備 3公園	京都市	■	■				20		－
		1－A－1 京都市における少子・高齢社会に対応した「緑豊かなまちづくり」（第2期）1－A－1 継続事業 R 2から「京都市におけるグリーンインフラを活用した豊かな生活空間の形成」に移行																	
	A12-002	公園	一般	京都市	直接	京都市	－	－	都市公園事業（西京極総合運動公園）	施設整備（スタンド内諸室等整備）	京都市	■	■				162		策定済
		1－A－4－1 京都市における少子・高齢社会に対応した「緑豊かなまちづくり」（第2期）1－A－4 継続事業 R 2から都市構造再編集中支援事業（個別支援制度）に移行																	
											小計						182		
都市再生整備計画事業	A10-003	都市再生	一般	京都市	直接	京都市	－	－	都市再生整備計画事業（西京極地区）	西京極総合運動公園等 20ha	京都市	■	■				387		策定済
		1－A－4－2 京都市における少子・高齢社会に対応した「緑豊かなまちづくり」（第2期）1－A－4 継続事業 R 2から都市構造再編集中支援事業（個別支援制度）に移行																	
											小計						387		
											合計						569		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	京都市	直接	京都市	—	—	公園実施設計に係る市民 参加ワークショップの実 施	公園整備に関連するワークシ ョップ 3公園	京都市	■	■				4		—	
		公園事業（１－A－１）と一体的に実施することで、公園利用者の意見を取り入れ地域に求められる公園整備を行うことにより、一層の公園の利活用を図る。																		
		１－C－１ R 2 から「京都市におけるグリーンインフラを活用した豊かな生活空間の形成」に移行																		
												小計						4		
											合計						4			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

本市において評価を実施

事後評価の実施時期

令和4年7月

公表の方法

本市HPにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

本整備計画では、吸収源対策公園緑地事業の廃止に伴い、令和2年度に、本事業を他の整備計画「京都市におけるグリーンインフラを活用した豊かな生活空間の形成」のグリーンインフラ活用型都市構築支援事業に移行しており、当該事業にて効果が発現予定である。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

- ・令和2年度より他の整備計画の「京都市におけるグリーンインフラを活用した豊かな生活空間の形成」に移行しており、今後は、上記整備計画のグリーンインフラ活用型都市構築支援事業にて事業を進める。
- ・西京極地区について、新たな整備計画にて引き続き整備を行う。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	5人	目標を達成した。
	最 終 実績値	5人	
2			
	最 終 目標値	50%	西京極地区について、新たな整備計画にて引き続き整備し、事業完了後に事後評価を行うため
	最 終 実績値	0%	
3			
	最 終 目標値	30%	西京極地区について、新たな整備計画にて引き続き整備し、事業完了後に事後評価を行うため
	最 終 実績値	0%	